



樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和6年7月24日

第70回三条祭「楽勝 ～楽しんだもん勝ち～」を終えて

天候をにらみながらの第70回三条祭でしたが、無事終了することができました。雨のため対抗戦が分割開催となりましたが、皆さんの熱量が雨雲を遠ざけたのではないかと思います。一般公開も多くの方が訪れ、三条高校の和気藹々とした雰囲気をも十分に感じていただけたものと思います。三条祭を振り返って、生徒会長の川原良佳さんからのメッセージをお届けします！



初めに、2024年度三条祭の開催にあたって、沢山のご協力を頂いた先生方、保護者の方々そして地域みなさんに心より感謝を申し上げます。

今年度の三条祭は、全てをコロナ禍以前に戻すだけでなく、生徒会企画など昨年までには無かったことにも挑戦しました。コロナ禍以前の三条祭を知る先生方も少なく、そして何よりも生徒は誰一人として経験したことがないという状態から、それらを元に戻し、さらに新しいことにも挑戦するということは、手探りの部分も多く当日になるまで大丈夫かな？と不安に思う部分もありました。しかし、3日間を過ごす中で生徒のみなさんが楽しそうに参加している姿を見た時には今までの緊張が解けると共に、心からここまで頑張ってきた

良かったなと思うことができました。

各チーム長、各パート長、そして生徒の皆さんも忙しい中での作業であったにもかかわらず、着々と準備を進め、今年度の三条祭を成功に導いてくださり本当にありがとうございました。

改善点も多くあったと思いますが、第70回まで続いてきた三条祭のひとつの歴史に私たちの代の三条祭を刻めたことを、とても嬉しく思います。来年度の三条祭は後輩たちが更に良いものを作り上げてくれることを願っています。

最後に、今年度の三条祭に携わってくださったすべての皆様、本当にありがとうございました。これからも生徒会活動へのご協力をよろしくお願いいたします。 生徒会長 川原良佳

野球部全校応援を力に11年ぶりのスタルヒンへ



野球部は足寄高校との1回戦を全校応援の後押しを受けて勝利。続く地区大会決勝、対帯広南商業戦は、自主応援ながら約300名の生徒が集結。その応援の甲斐もあって見事勝利を飾り、11年ぶりの北北海道大会出場を果たしました。北北海道大会では残念ながらオープニングゲームの対士別翔雲戦で敗退したものの、古豪復活を印象付けた大会でした。暑い中、熱い応援をリードしてくれた応援団と吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。また、北北海道大会で自主応援に駆けつけてくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

野球部主将の片山天晟さんは、「楽しく明るくプレーするのが僕たちのモットーで、最後まで貫けました。自分たち一人一人が自分で考えプレーすることを徹底してきました。たとえミスしたとしても、それは僕たちの今の力。みんなでここまでたどり着けたことは素直に嬉しいですが、まだまだこれから。僕たちには経験が足りなかったと思います。でも後輩たちは今回の経験があるので、それを糧にしてさらなる高みを目指して頑張ってもらいたい。佐藤監督をはじめ顧問の先生方、いつも支えてくれた家族に感謝です。そして最後まで応援してくれたみんなにありがとうございました。」と話してくれました。

伝統の三条野球部はまた新たなスタートをきることになりますが、引き続き応援よろしくお願いいたします。





三条高校で輝いている生徒を紹介する校長インタビュー「きらり」ですが、今回は三条祭総合優勝チームのチーム長、松田さんのインタビューと、各チーム長たちから後輩に送るメッセージをお届けします！

総合優勝を飾ったCチームのチーム長 3-3 松田 倭汰 さん



今年の総合優勝はCチーム（3組）でした。優勝した時の気持ちを尋ねると、「まったく優勝するなんて思ってもいませんでした」とにっこり。リーダーとして心掛けていたことを聞くと、「他のチーム長と違って、自分からやろうと手を挙げたわけではないんです。まったく周囲を引っ張っていく自信はありませんでした。自分にできるのはみんなに積極的に声を掛けることぐらいかなと思っていたので、とにかく下級生とコミュニケーションをとろうとしました」と控えめに話します。「1・2年生と関わることができて思い出に残る楽しい学校祭になりました。彼らの協力がなかったらここまでの結果を残すことはできませんでした」ときっぱり。同様にパートリーダーへの

感謝も忘れません。「僕が情けない分、パートリーダーたちが明確に指示を出してくれました。安心して任せることができました。本当に感謝です。特にパフォーマンスは、うちのチームにはチア部がいなく、ダンスが得意という人も少なく、みんな自信なんてなくて、振り付けもひとつずつ係の人に従って、全員で協力しながらやっていた。それが一体感につながったのか、結果は2位でした。あれがなければ優勝はなかったと思います。」と振り返ります。

最後に後輩たちへのメッセージを願いすると、「Cチームは勝つことよりも楽しむことを目指していました。でも、ふざけたりする楽しさではなく、みんなで一つのことに向かって創り上げていく楽しさを知ってほしいと思います」。

これこそ教育が目指す「協働」そのものですね。



Aチーム 佐藤 敦 さん

学校祭への協力ありがとうございました。みなさんの協力のおかげで3年生もすごく楽しい学祭、準備期間になりました。来年からは後輩が増えますが、今回のAチームは雰囲気がとても良かったため、それを知っている君たちが率先して良い雰囲気を作ってください。



Bチーム 中道 大智 さん

私はこの学祭の準備期間や学祭当日についてもそうですが、全員で協力しながら学年を超えて力を合わせることが、改めて必要だと感じました。結果はついてきませんでしたが、仲の良さや学年を超えた絆は、どのチームよりもBチームが一番です。みんな、ありがとう！



Dチーム 神野 楓 駕 さん

どれだけ本気でやっても順位はつきません。自分たちが上位だと思っていたパートが下位になることもあります。逆も然りです。だからこそどんな順位でも満足のいくものを創り上げてください。準備期間初日から全力で楽しんでください。学祭は楽しむものです。楽しんだもん勝ちです。



Eチーム 日下 賢 将 さん

準備期間から3日間の学祭本番まで、本当に楽しい時間を過ごすことができました。私自身は集団の先頭に立ち皆を引っ張ることが得意ではありませんでした。しかし、チームみんなの団結力のおかげで準優勝という素晴らしい結果で終えることができました。まじでありがとう。最高のチームでした！



Fチーム 藤村 陸 さん

チーム長をやって不安なことがたくさんありましたが、Fチームのみんなや各チーム長のおかげで最後の最後まで楽しい学祭になりました。たくさん迷惑かけたと思うけど、それも笑っていじってくれるFチームのチーム長になれて幸せです。みんなありがとう！

